

スポーツ・文化・教養・交流の 新しい拠点

米良充典氏に聞く—

最高のパフォーマンスを引き出す県プール

県内初の屋内型50mプールを持つ「パールアクアパーク宮崎」の利用が始まりました。昨年12月に完成し、3月15日に完成式典が行われました。4月1日から2週間はオープン記念として施設が県民に無料開放されましたが、予想を超える多くの皆さんが新しいプールを利用され、



の選手が平衡感覚を保ちやすいよう無天井の仕様になっているほか、約1500席ある観客席、大型モニター、音響・照明など、アスリートの最高のパフォーマンスを引き出す工夫が随所に施されています。競泳、水球、アーティスティックスイミングの全国大会誘致や合宿受け入れにも結びつく、素晴らしい施設です。アスリートだけでなく、水泳の愛好者や健康づくりに取り組む一般の方々も利用できるんです。



宮崎県商工会議所連合会 会頭
宮崎商工会議所 会頭
ひなたメドレー株式会社代表取締役

米良充典氏

「日本のひなた宮崎県スポーツ・障スポ2027」に向け、宮崎市錦本町で整備が進められてきた県プール「パールアクアパーク宮崎」は、4月1日から供用が開始されました。民間資本による施設も一体的に整備され、スポーツ・文化・教養・交流の新しい

い拠点として注目を集めています。PFI事業による県プール整備においてプロジェクトマネージャーを務めた米良電機産業株式会社社長の米良充典氏に、施設の詳細や今後の展望などを聞きました。

米良充典(めらみつのり)
米良電機産業株式会社代表取締役会長。2010(平成22)年から宮崎商工会議所会頭。2017(平成29)年から県観光協会会長も務める。1945(昭和20)年生まれ。

るので夜間でも安心してジョギングやウォーキングができるんですよ。健康づくりを楽しむ多くの県民の皆さんにも親しまれる施設になると確信しています。施設には宮崎らしさが表現されていると聞きました。

米良 県産木材が活用されています。また、仮肥城の石積みや伝統織物をモチーフにした壁、明るく開放的で温かみのあるデザインも宮崎らしさを感じさせます。二酸化炭素削減など環境に配慮した建設資材や太陽光発電を活用し、環境負荷を抑えているのも特長のひとつ。これも自然豊かな宮崎らしさと言えますね。

<PM業務>

Mera Group Corporation
米良電機産業株式会社

代表取締役会長 米良充典
代表取締役社長 米良充由



宮崎市別府町4番33号 ☎(0985)24-6855

文化や交流が生まれる場所 ひなたメドレータウン

賑わいとエネルギーを生み出す交流拠点を



周辺には民間資本の施設も作られオープン当初から多くの人でにぎわっています。米良 宮崎大学のサテライトキャンパスやコワーキングスペースなどが入る「ひなたメドレータウン」のほか、MRT宮崎放送本社や飲食店が隣接しています。県プールの中心にしたこの一帯は「ひなたメドレータウン」という名称で、賑わいを創出するシンボリックなエリアとして大きな期待が寄せられています。



「ひなたメドレータウン」は、新しい人の流れを生み出す起

なキャンパスに集う学生とのマッチング業務にも取り組んでいきます。具体的には、施設内での大型ビジョンや特設ウェブサイトで企業情報を発信したり、就職面談会を開催したりといった内容です。これまでになく未来型の学び方・働き方を提案し、交流や文化が生まれる場所として利用していただきたいと思っています。

宮崎市中心部はこの数年でさまざまな活性化策が打ち出され

賑わいを取り戻しつつあります。米良 宮崎駅前再開発で開業した複合開発のKITENと、NTT西日本宮崎支店跡地に今月18日にランドオープンするHAROW(ハロウ)など、まちなかの賑わい創出が進んでいます。宮崎駅前からのみならず、広島通、若草通、一番街までの約1kmの商店街にも活気が戻ってきました。そこに「ひなたメドレータウン」へもつ

ながり、宮崎市中心部の「キラキラ輝くまちづくり」がいよいよ現実のものとなる。想像しただけでワクワクしませんか。宮崎商工会議所会頭として「スポーツランド宮崎」の推進が本県の地域活性化・経済発展の力だとい前からおっしゃっていますね。

米良 国スポ・障スポに向け整備された県プールと都城市の県陸上競技場、延岡市の県体育館、それにシーガイアの屋外型トレーニングセンターなどの素晴らしいスポーツ施設が本県にはあります。これを基盤にして本



爆発になりそうです。米良 ひなたメドレータウンの強みは何と言っても宮崎駅から徒歩圏内というアクセスの良さ。大会や研修で多くの団体が集まりますし、1週間当たり延べ約3000人もの学生が利用します。ひなたメドレータウンで学ぶ学生が、まちなかでアルバイトをするもよし、友情を深めるもよし、恋を語るもよし。「ひなたメドレータウン」から生まれる楽しさいつばしのエネルギーがまちなかまで派生することを期待しています。

さらに、スポーツ合宿のメッカという地域特性とあわせて「スポーツメディカル」を充実させていくことも、スポーツランド宮崎推進において非常に重要なポイントになるでしょう。今年度から宮崎大学にスポーツ医療の拠点が設けられ、県などと共同でアスリートの支援体制が強化されると聞いています。スポーツ・医療の体制整備、人材育成にもぜひ力を注いで取り組んでいただいで、本県スポーツ界を支える大きな力になってほしいと強く期待しています。